

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	淀川区
学校名	大阪市立野中小学校
学校長名	大野 忠司

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成28年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
- ・主として「活用」に関する問題（B問題）

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全生徒
- ・野中小学校では、第6学年 60名

平成28年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

主として「知識」に関する問題Aの平均正答率は国語は大阪市平均を上回り、算数については全国平均を上回っている。主として「活用」に関する問題Bは、国語、算数とともに全国、大阪市の平均を下回っている。昨年度と比較すると、国語、算数ともに全国平均との差は改善されている。

無解答率は、国語、算数のA、B問題すべてで全国平均を下回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語] 漢字を正しく読んだり、書いたりすること、ローマ字で書いたり、ローマ字で表記されたものを正しく読んだりすること、グラフを基にわかったことを的確に書くことについては成果が見られ、基礎的、基本的な知識・技能について全国平均と同等に身についていると考えられる。一方、目的や意図に応じて書く事柄を整理すること、自分の考えを書くこと、表現をよりよくするために助言することには課題が見られ、基礎的、基本的な知識・技能を活用することにおいては全国平均に至っていないと考えられる。

[算数] 整数、小数、分数の計算ができること、除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解していること、数の大小関係を理解していること、三角形の底辺と高さの関係について理解していること、図形を構成する角の大きさを基に示された四角形を並べてできる形を判断できることにおいて成果が見られ、基礎的、基本的な知識・技能について全国平均以上に身についていると考えられる。一方、除法における計算の確かめの方法を理解していること、単位量あたりの大きさを求めるために、示された資料の他に必要な情報を判断し、特定することができることに課題があり、基礎的、基本的な知識・技能を活用することにおいて、全国平均に至っていないと考えられる。

質問紙調査より

学校生活を楽しむこと、いじめをゆるさない気持ちを持つこと、授業時間以外に読書を行うことについてはできている児童が多い。一方、朝食を毎日食べる、早い時刻に就寝する、自分で計画を立てて学習するなどの基本的生活習慣の確立においては課題が見られ、2時間以上ゲームをする児童が全国平均の倍近く見られる。また「地域や社会で起こっている問題や出来事に关心がありますか」「自分にはよいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」に対する肯定的な回答率が低く、社会に対して関心を持つこと、自尊感情を持つことができていない児童が多い。算数、国語が好きと答えた児童が少なく、話し合ったり、自分の考えを述べたり、深めたりする授業への改善が今後も必要である。

今後の取組

○習熟度別少人数授業を効果的に実施する。

- ・児童それぞれの実態に合わせた、きめ細やかな指導を継続的に行う。

○朝の学習タイムを充実させる。

- ・始業前の時間を学習タイム、読書タイムとして活用し、基礎的学力の定着を図る。
- ・英語のモジュール授業を充実させ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

○校内研修を活性化させ、アクティブラーニングへの授業改善を行う。

- ・研究授業、研究協議を充実させ、児童が能動的に学ぶ授業を作り上げる。

○学校行事、総合の時間を充実させ、児童の心を育てる。

- ・さまざまな体験を通して、ソーシャルスキルを向上させる。

- ・学級経営の中で人間関係づくりを行い、児童の自尊感情を高める。

【 全体の概要 】

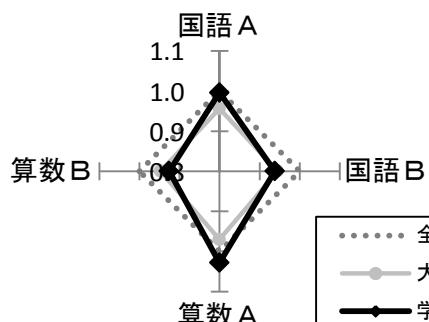
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	72.6	54.2	79.8	43.7
大阪市	69.7	54.6	75.3	44.7
全国	72.9	57.8	77.6	47.2

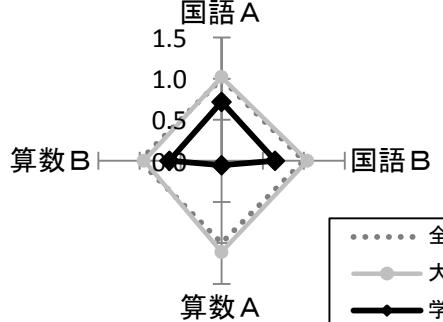
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	3.8	3.0	0.1	4.7
大阪市	5.4	4.8	2.0	7.0
全国	5.3	4.6	1.8	7.4

平均正答率(対全国比)

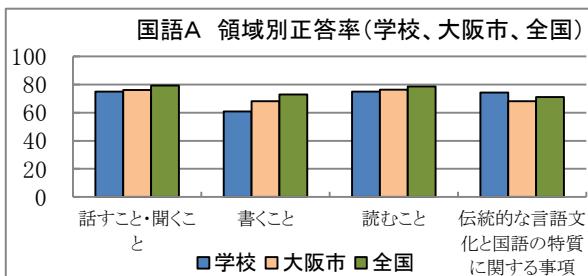


平均無解答率(対全国比)

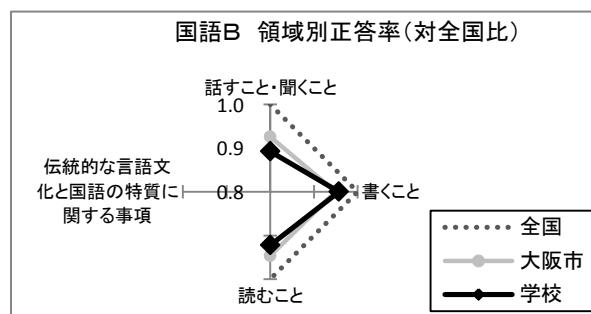
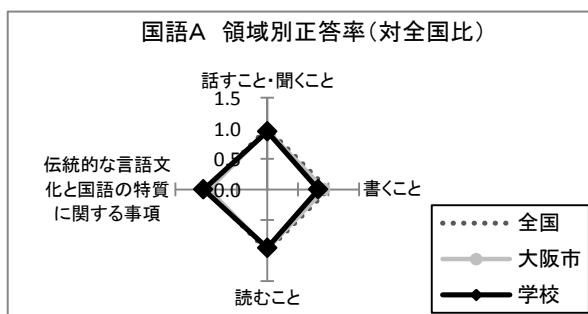
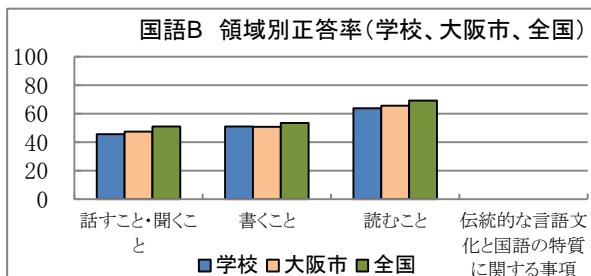


【 国 語 】

A 問 題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	75.0	76.1	79.2
	書くこと	2	60.8	68.1	72.8
	読むこと	2	75.0	76.2	78.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	74.2	68.0	71.1



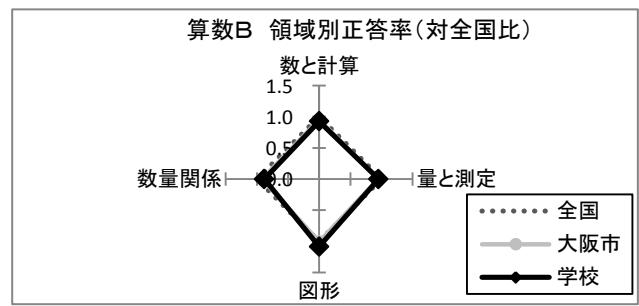
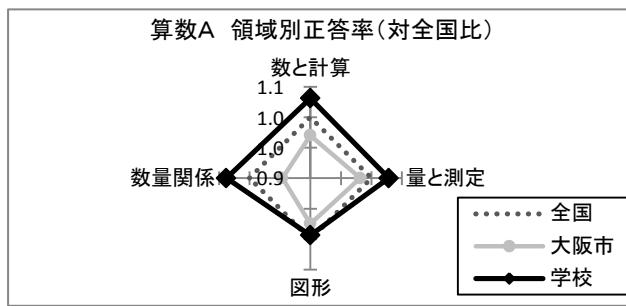
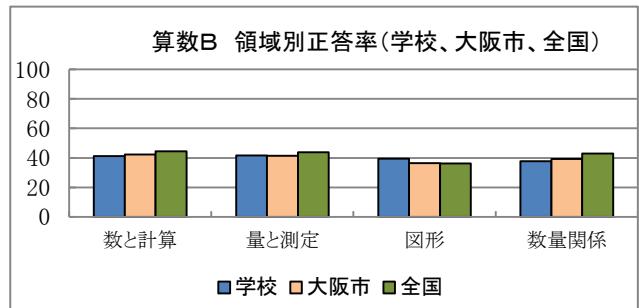
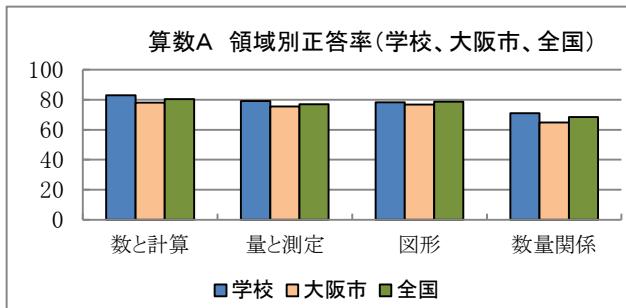
B 問 題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	45.6	47.3	51.1
	書くこと	6	51.1	50.7	53.4
	読むこと	3	63.9	65.6	69.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	—



【 算 数 】

A 問 題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	数と計算	10	83.0	78.1	80.5
	量と測定	2	79.2	75.6	77.0
	図形	2	78.3	76.8	78.8
	数量関係	3	71.1	64.8	68.5

B 問 題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	数と計算	6	41.1	42.3	44.4
	量と測定	5	41.7	41.5	43.7
	図形	3	39.4	36.5	36.3
	数量関係	6	37.8	39.2	42.9



児童質問紙より

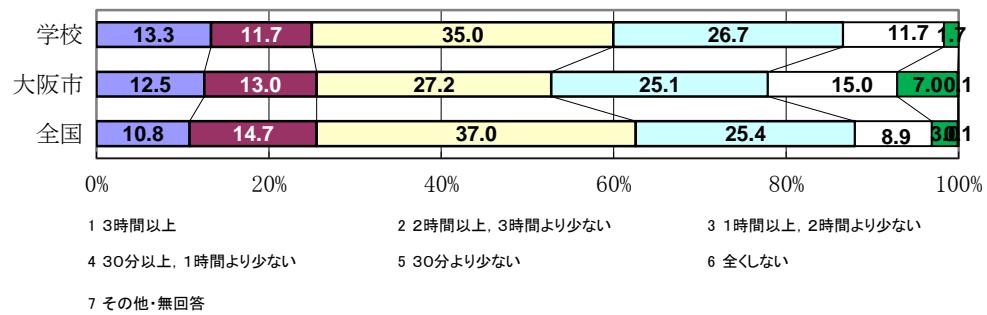
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9

質問番号

質問事項

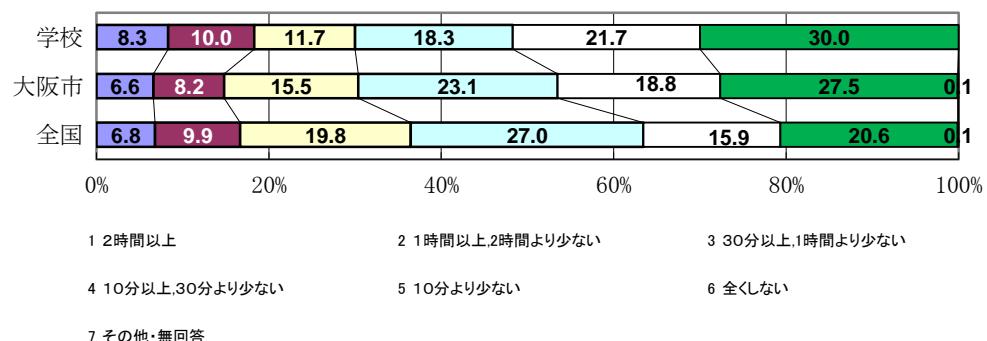
14

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



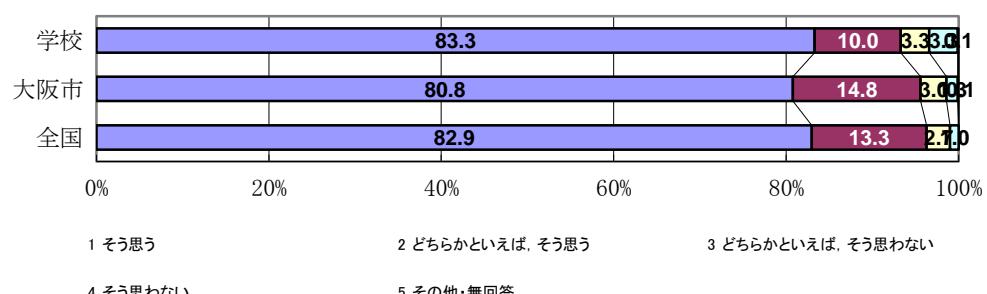
17

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



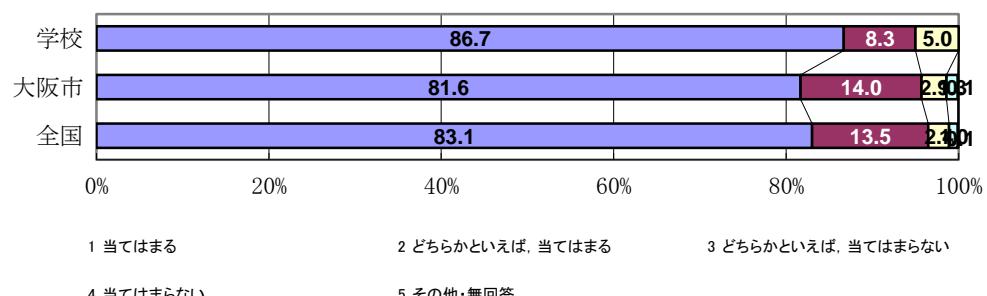
27

学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか



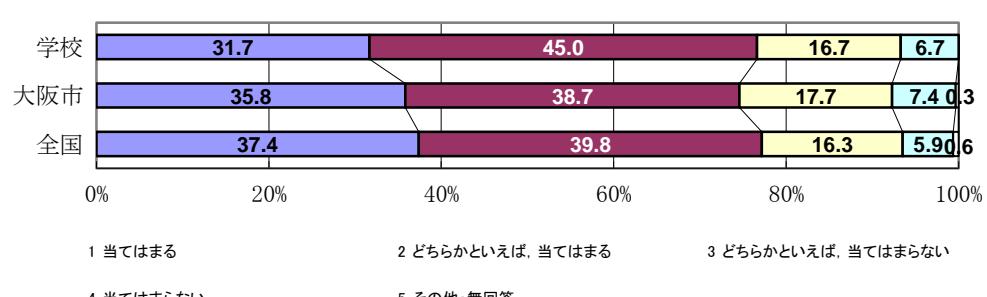
42

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



44

「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか



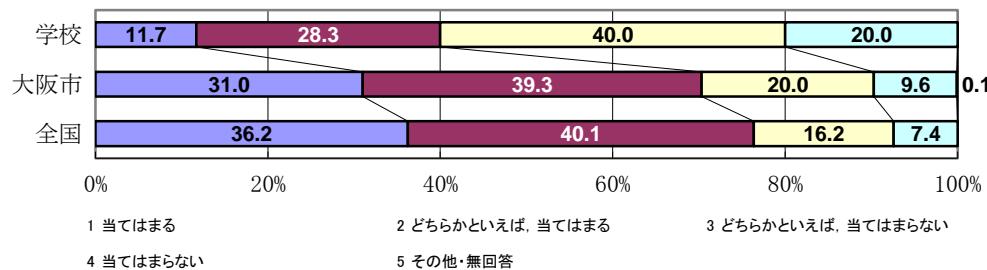
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9

質問番号
質問事項

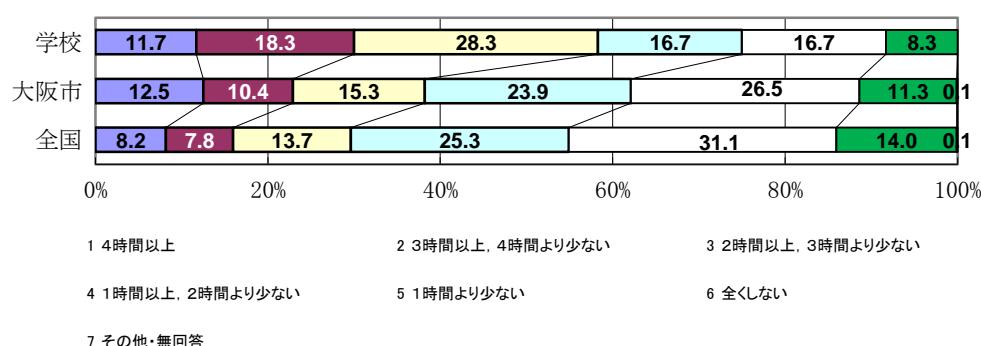
6

自分には、よいところがあると思いますか



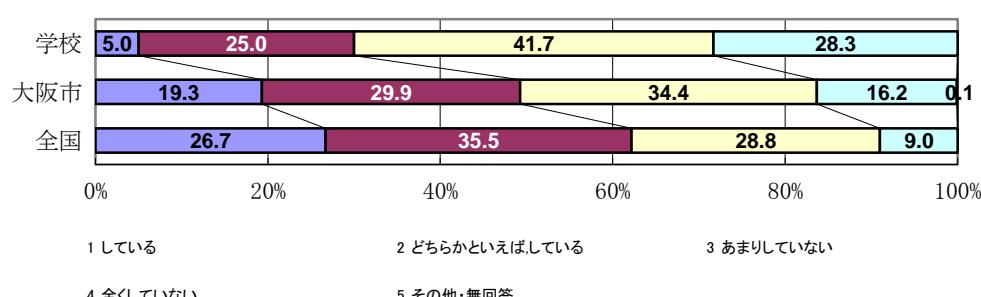
12

普段(月～金曜日)，1日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム(コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



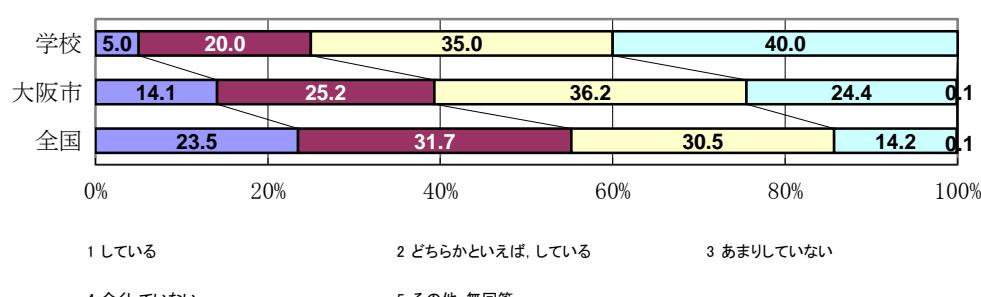
21

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



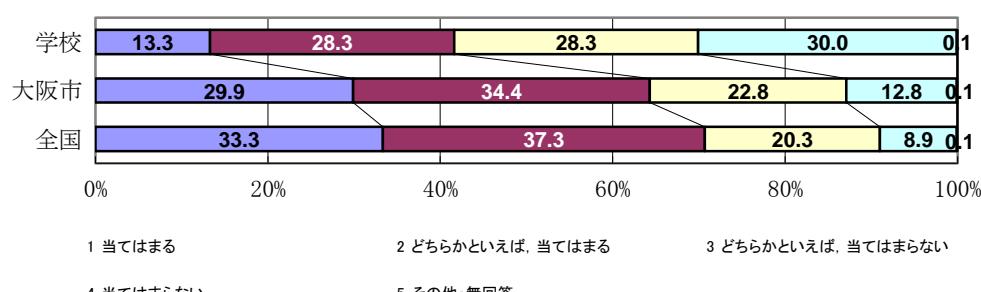
24

家で、学校の授業の復習をしていますか



35

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



学校質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 ■6 □7 □8 □9 □10

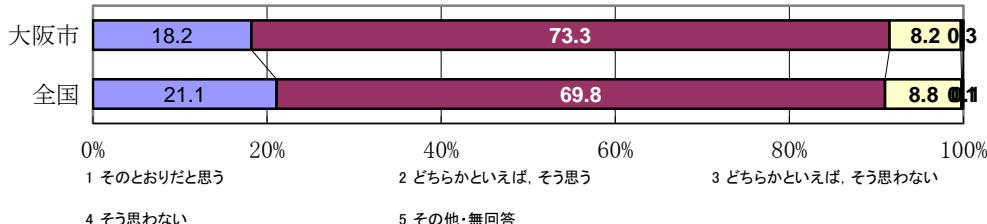
質問番号

質問事項

20

調査対象学年の児童は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか

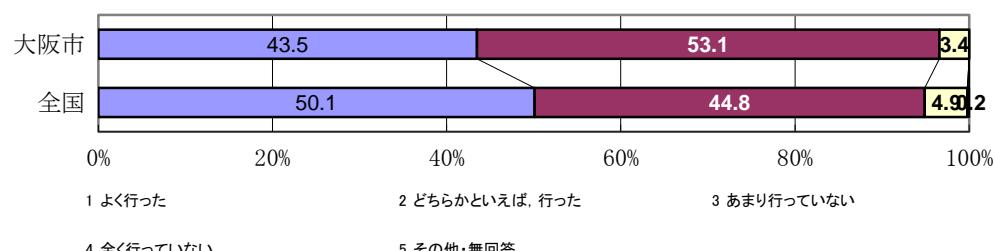
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか

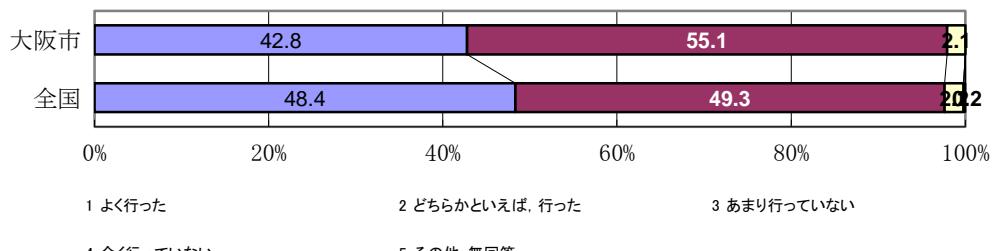
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



40

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか

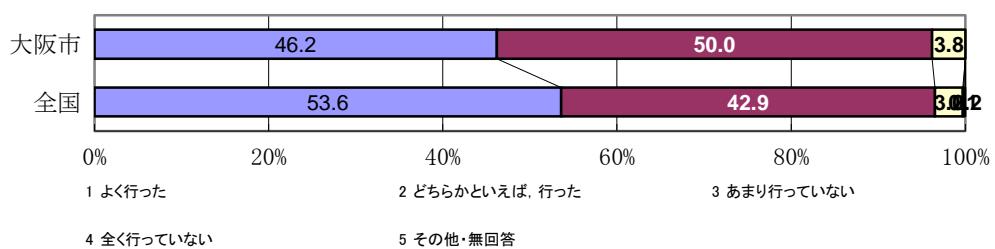
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



42

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか

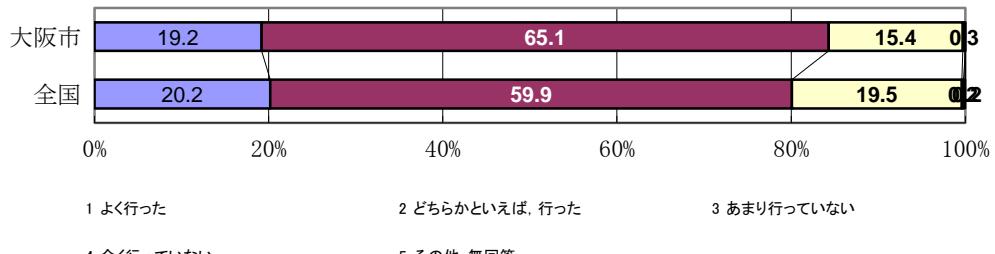
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



44

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



学校質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10

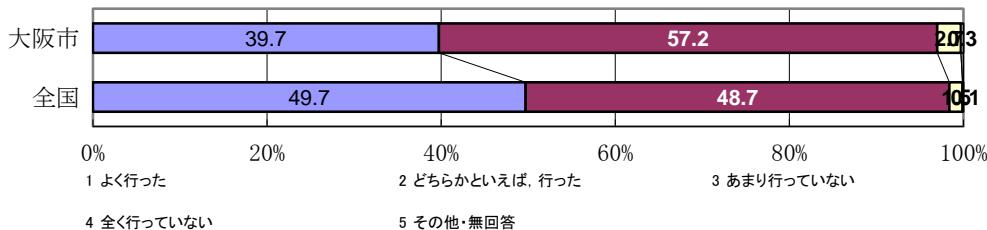
質問番号

質問事項

53

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け、児童に伝えるなど積極的に評価しましたか

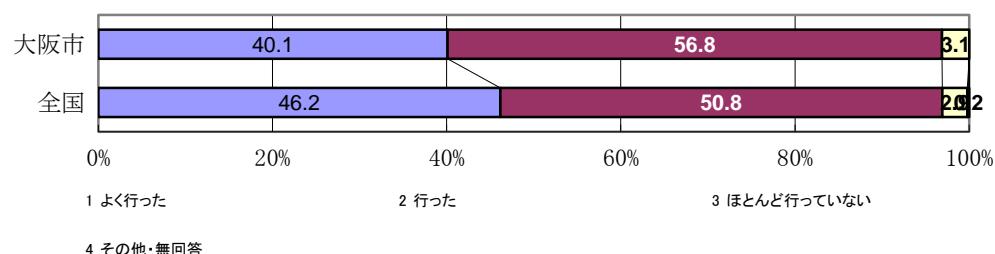
学校「どちらかといえば、行った」を選択



60

平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

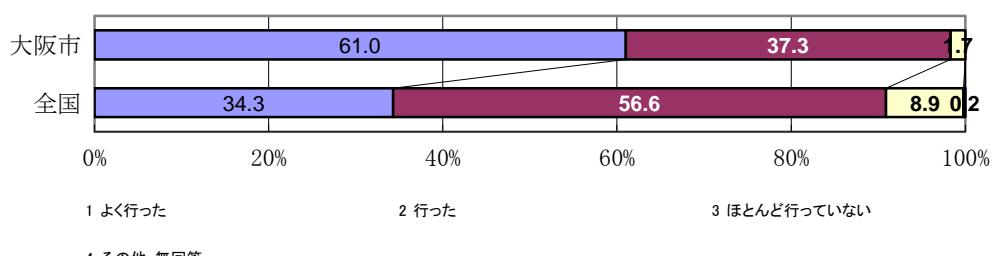
学校「よく行った」を選択



61

平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)

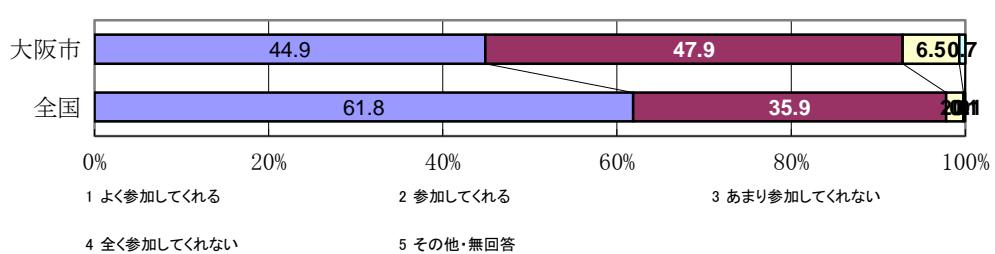
学校「よく行った」を選択



89

PTAや地域の人が学校の諸活動(学校の美化など)にボランティアとして参加してくれますか

学校「よく参加してくれる」を選択



104

模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

学校「どちらかといえば、している」を選択

